



# れんげそう

令和8年4月6日  
福生第五小学校  
学校通信第584号

## 目標をもつことの大切さ

校長 鈴木 輝

このたび、4月1日付で福生第五小学校の校長として着任しました、鈴木 輝（すずき あきら）です。長い歴史と伝統、そして「愛鳥活動」等の特色ある教育活動を大切にしてきた本校に赴任できますことを、大きな喜びであると同時に、その責任の重さを強く感じております。これまで本校を支えてこられた先輩方の歩みや地域・保護者の皆様の思いを真摯に受け継ぎながら、子どもたち一人一人が安心して学校生活を送り、持てる力を十分に伸ばしていける学校づくりに尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



さて、令和8年度がスタートしました。校庭の草木も春の訪れとともに芽吹き、学校全体が新たな息吹に包まれる中、子どもたちは新しい学年・学級での生活を始めました。子どもたちの表情からは、期待や希望に満ちた明るさとともに、新しい環境への緊張や不安も感じられましたが、前向きな気持ちで新しい一歩を踏み出している姿がとても印象的でした。

始業式では、子どもたちに「目標をもつことの大切さ」について話をしました。目標は、必ずしも高く大きなものでなくて構いません。「授業中に自分から手を挙げてみる」「毎日の学習や宿題に取り組む」「思いやりのある言葉をかける」など、生活の中で自分が意識して頑張れることで十分です。目標をもつことで、一日一日の学びや行動に意味が生まれ、自分自身の変化や成長を実感しやすくなります。

また、挑戦の過程では、思うようにいかないことや失敗もあるかもしれませんが、しかし、失敗を恐れるのではなく、振り返りを通して次に活かしていくことが大切です。その積み重ねが自己肯定感や自信となり、新たな挑戦へ向かう力につながっていくと信じています。

教職員一同、子どもたちの声や努力に寄り添いながら、日々の教育活動の充実に努めてまいります。本年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

